



UNIPRES



ユニプレス株式会社

証券コード:5949

2017年7月 専務執行役員 森田 幸彦



UNIPRES CORPORATION



1. 会社概要

2. ユニプレスの強み

3. 中期経営戦略

4. 株主還元



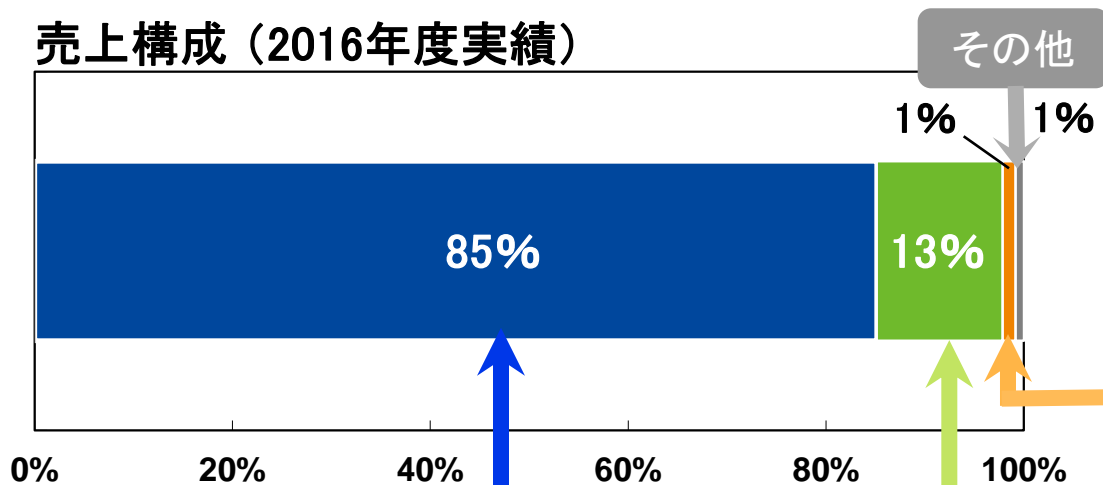
初めまして！ユニプレスです。

1. 会社概要



当社の製品とは

売上構成 (2016年度実績)



樹脂プレス製品



車体プレス製品



トランスミッション用製品



- ・車体プレス製品、トランスミッション用製品、樹脂プレス製品を生産
- ・売上構成比は、車体プレス製品が85%を占める



身近な当社製品

NISSAN

ノート



セレナ



リーフ



エクストレイル



スカイライン



GT-R

HONDA

フィット



フリード

N-BOX



SUBARU

インプレッサ



MAZDA

アテンザ



DAIHATSU

ミラココア



SUZUKI

ラパン



アクセラ



! Point

国内大手メーカーと取引



業界内の位置づけ

	ヨロズ	東プレ	フタバ産業	ジーテクト	プレス工業	エフテック	エイチワン	ユニプレス
売上高			1位	3位				2位
営業利益		2位		3位				1位
経常利益		2位		3位				1位
当期純利益		2位		3位				1位
売上高営業利益率		1位		3位				2位
ROE		2位				1位		3位
資本金			1位		3位			2位
時価総額		1位	3位					2位
株価	3位	1位						2位
従業員数			1位			3位		2位

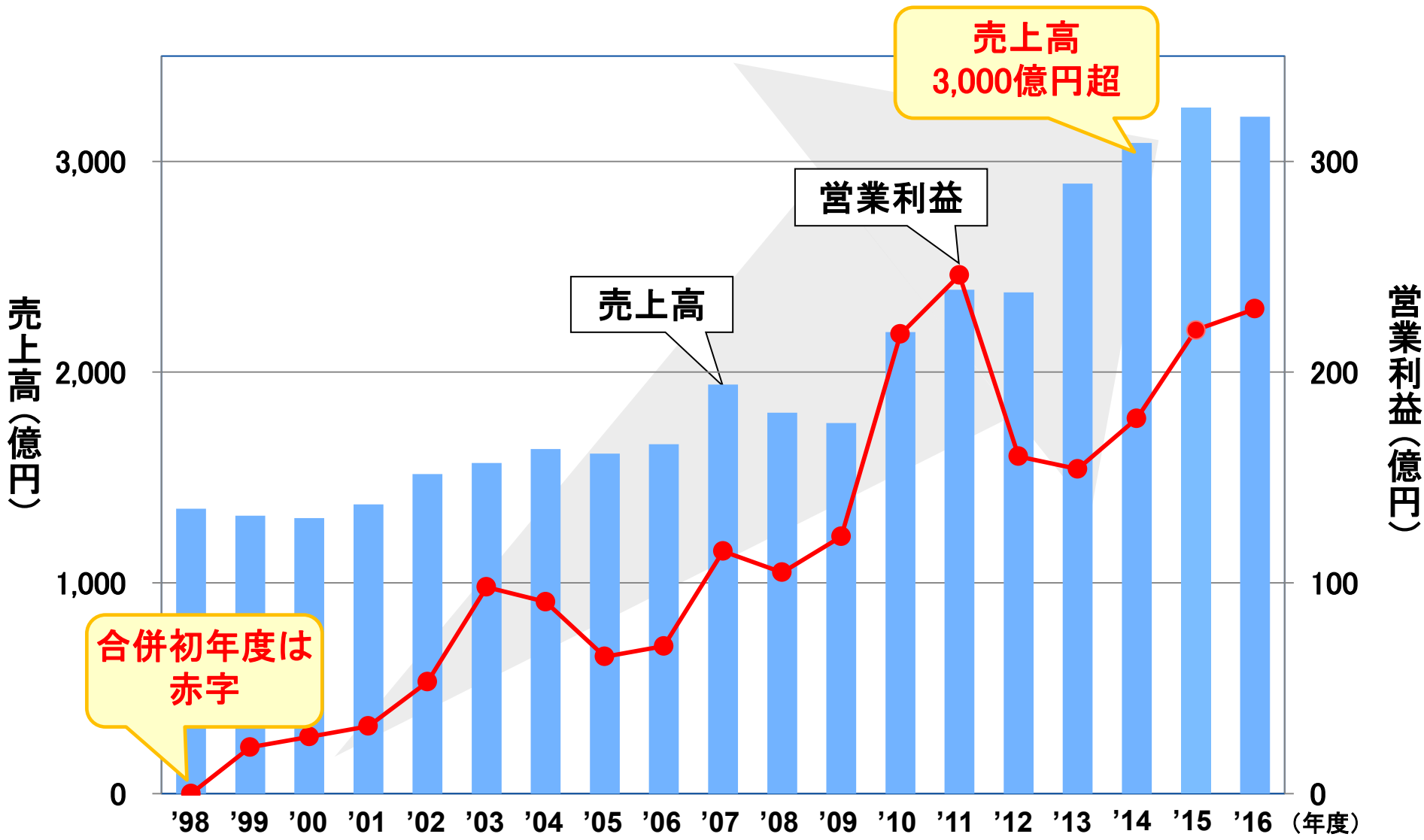
※2017年3月31日現在のデータより



国内最大手！



連結収益の推移





グローバルNo.1を目指す

2. ユニプレスの強み

- 1) 高い技術力
- 2) 拡販
- 3) グローバル展開



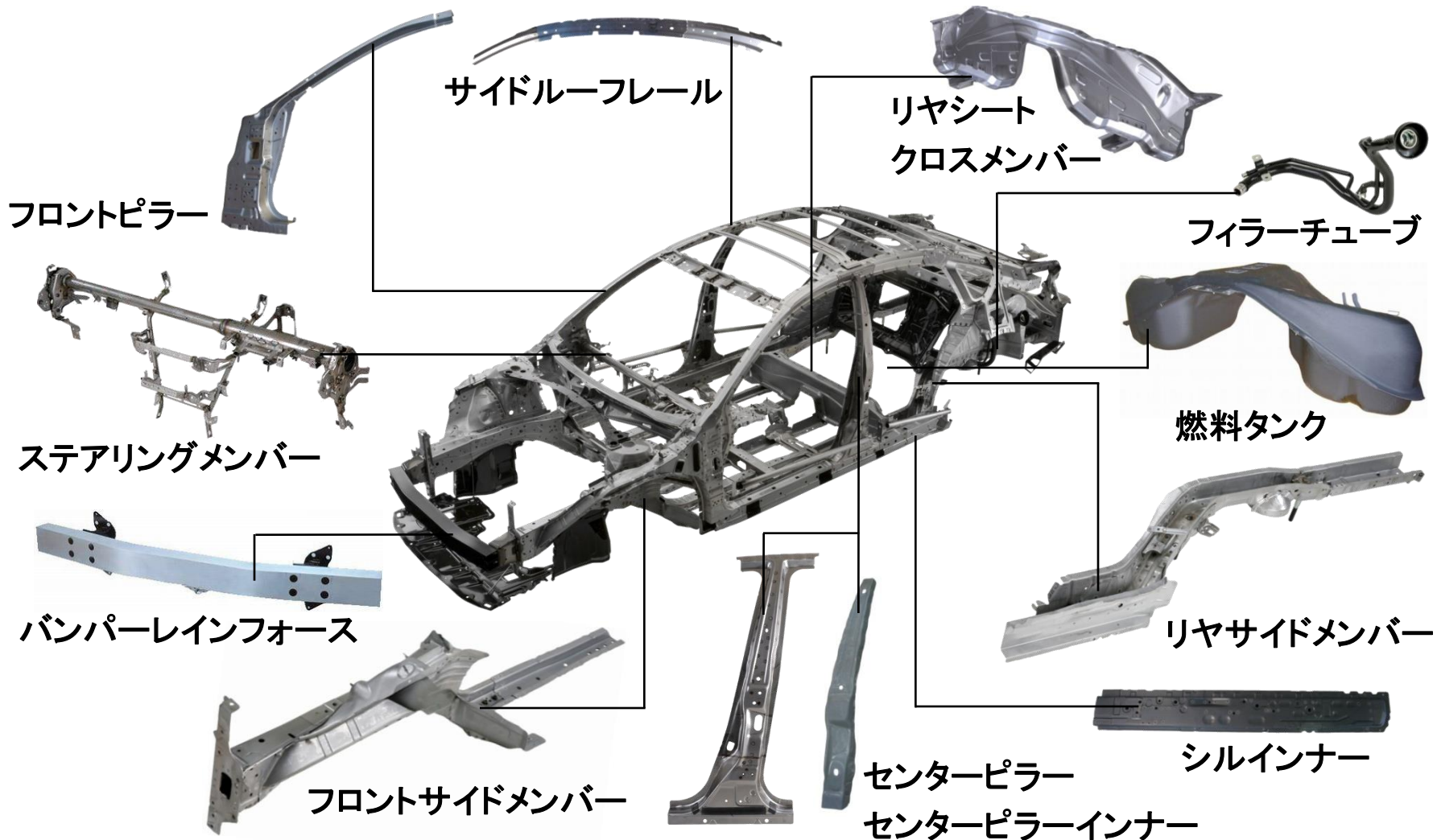
安全性・燃費向上に貢献する

1) 高い技術力



UNIPRES

車体プレス製品



衝突安全性や燃費向上のための軽量化を支える重要な骨格部品等を生産



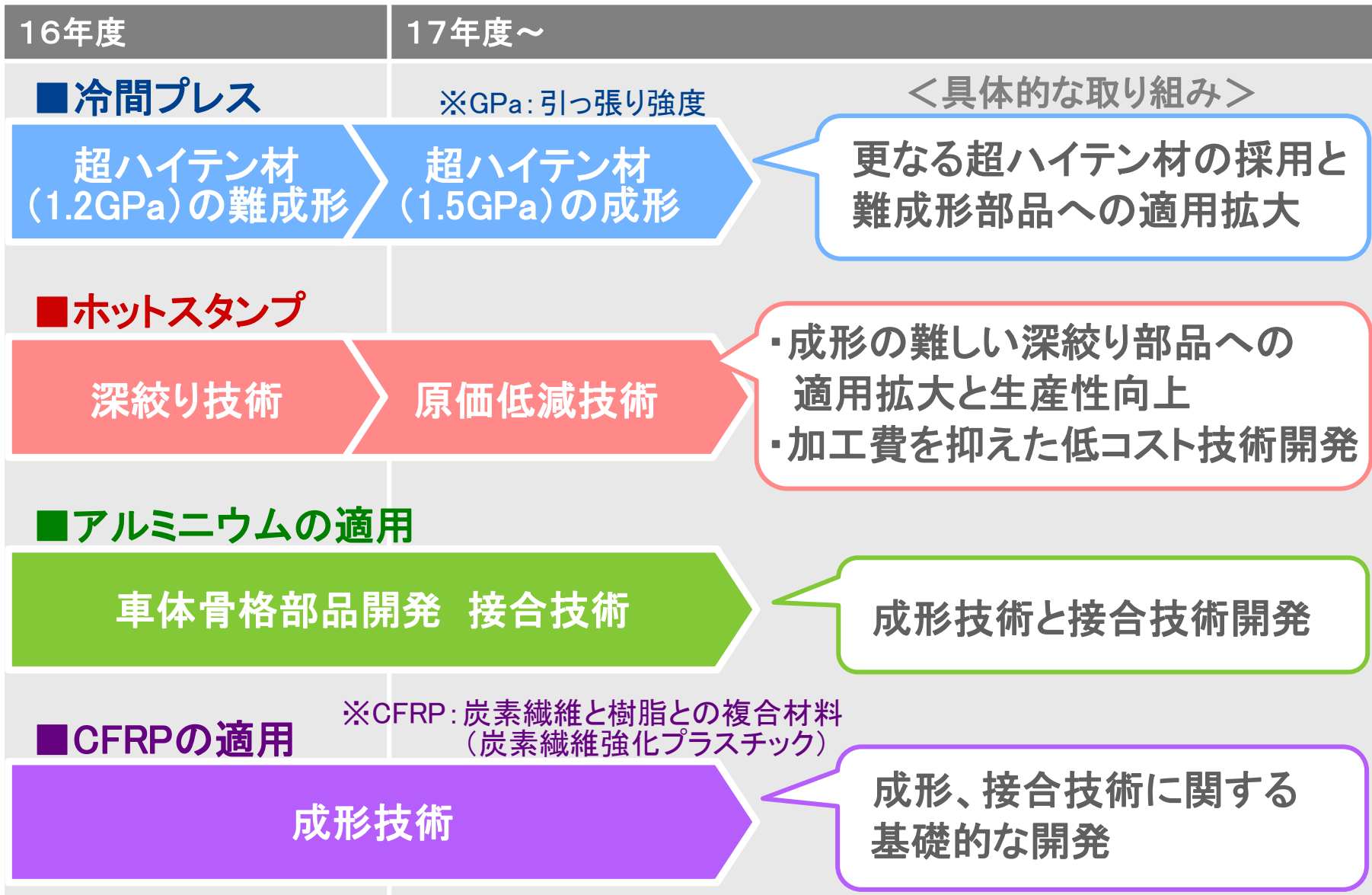
車体に求められるもの

車体に要求される
衝突安全性能・CO2排出量削減・燃費向上

高強度化と軽量化の両立



車体部品軽量化技術開発の取り組み



ハイテン材 (高張力鋼板)

高強度な鋼板

メリット

硬く薄くできる

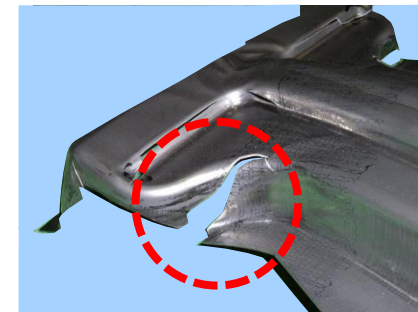
車両の軽量化

燃費向上

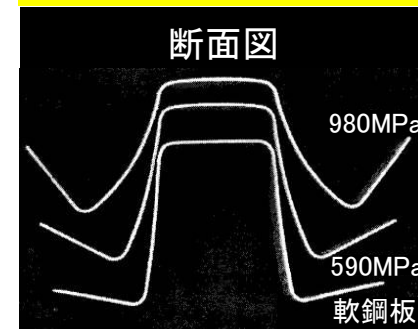
デメリット

成形加工が難しい

高度な技術が必要



割れが発生しやすい



スプリングバック

当社はハイテン材製品の開発～試作～量産が強み

高強度と軽量化の両立を実現

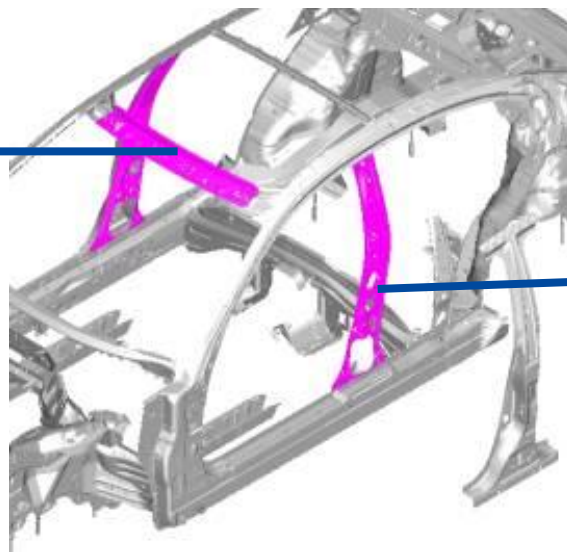


UNIPRES

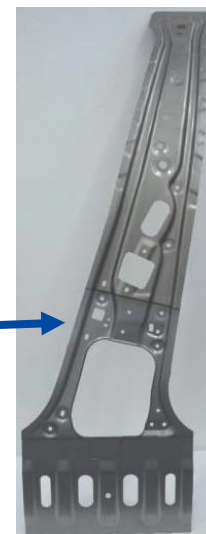
1.2GPa級超ハイテン材成形技術



フロントルーフレイル



■ : 1.2GPa級超ハイテン材使用
当社受注部品



センターピラーインナー

- 当社、日産、新日鐵住金の共同開発で、1.2GPa(1180MPa)材部品の量産化に成功
- 「スカイライン」「Infiniti Q50」など多数の車種に適用
- 特にセンターピラーインナーは、1.2GPa(1180MPa)材を含む“テーラードブランク工法※”を採用した部品(世界初)
- 現在、1.2GPaの難成形、1.5GPaの成形に取り組んでいる

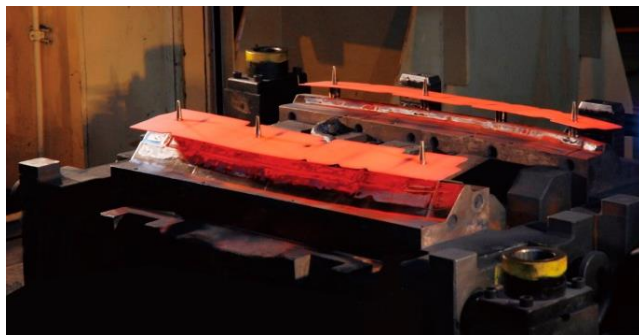
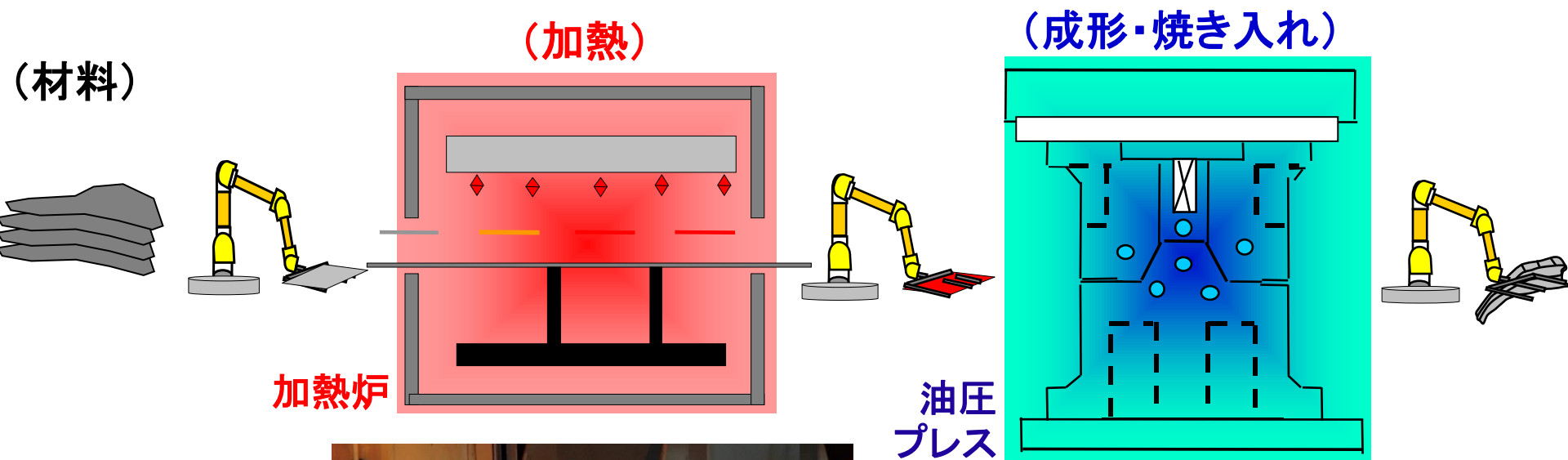
※テーラードブランク工法とは…軽量化と強度を両立するため、性能や厚さの異なる鋼板をレーザー溶接で接合して1枚の板にする工法



ホットスタンプ工法

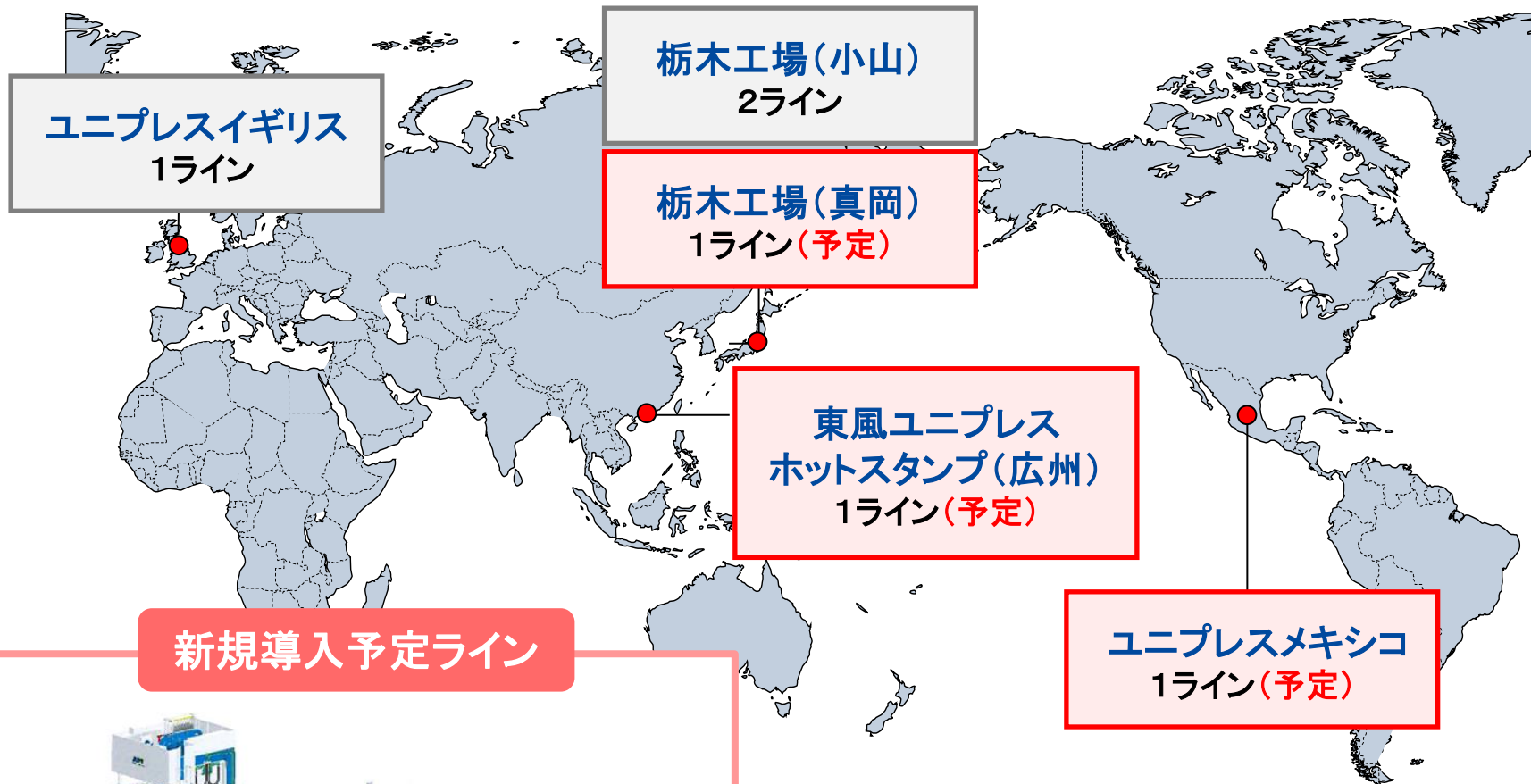
ホットスタンプ工法

鋼板を加熱し、プレス成形と同時に急速冷却することで
焼き入れを行い、1350MPa以上の高強度製品の加工を実現

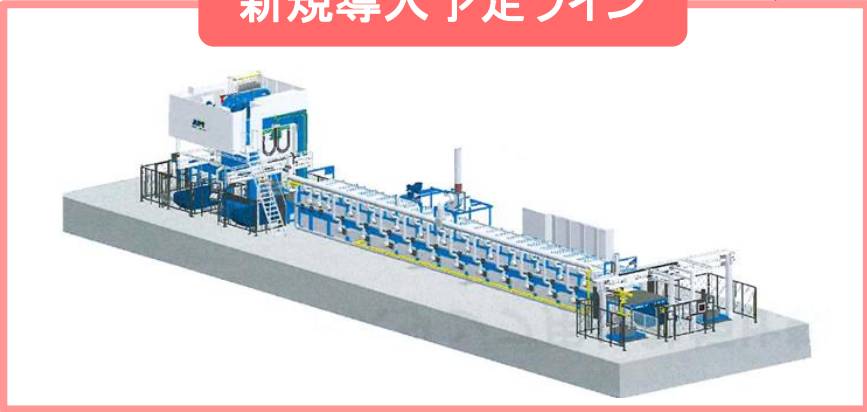




ホットスタンプラインの導入状況



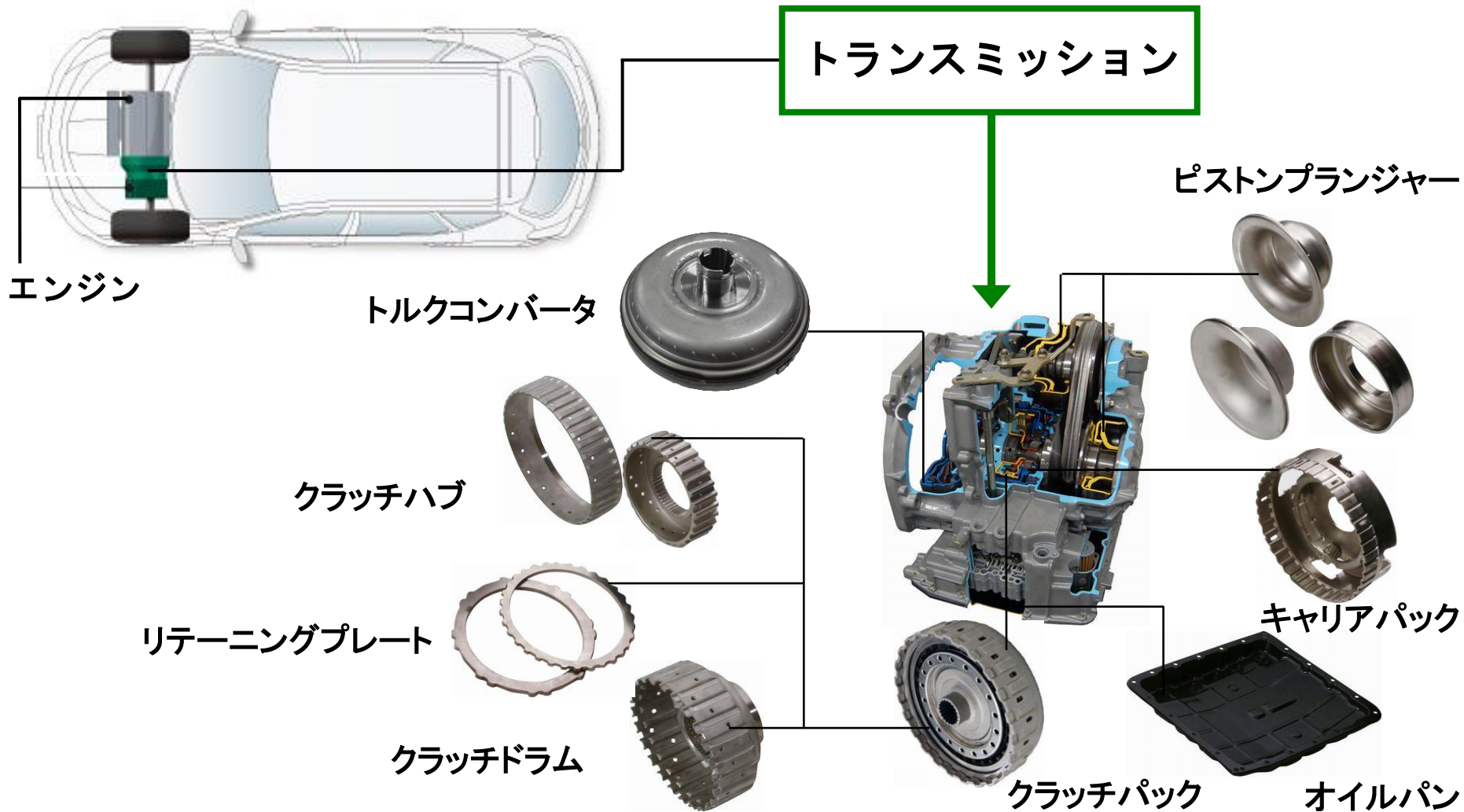
新規導入予定ライン



・既存の3ラインに加え、更に3ラインを導入予定



トランスミッション用プレス製品



精密さと強度を求められるトランスミッション用部品を生産



鑄造・鍛造工法を超える精密プレス技術

従来工法

熱間鍛造
+
齒形機械加工



ユニプレス
工法

プレス加工



生産性向上と材料費の削減により大幅なコスト低減を実現



世界一軽量な自社開発トルクコンバーター

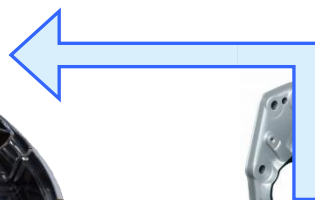
クラス(1.6L)世界一の軽量・小型・低燃費 トルクコンバーターを開発

ユニプレス完全オリジナル設計のトルクコンバーター
を初受注し、中国で2015年8月生産開始

トルクコンバーターとは・・・オートマチックトランスミッションに
搭載される変速機で重要な基幹部品



自社開発トルクコンバーター



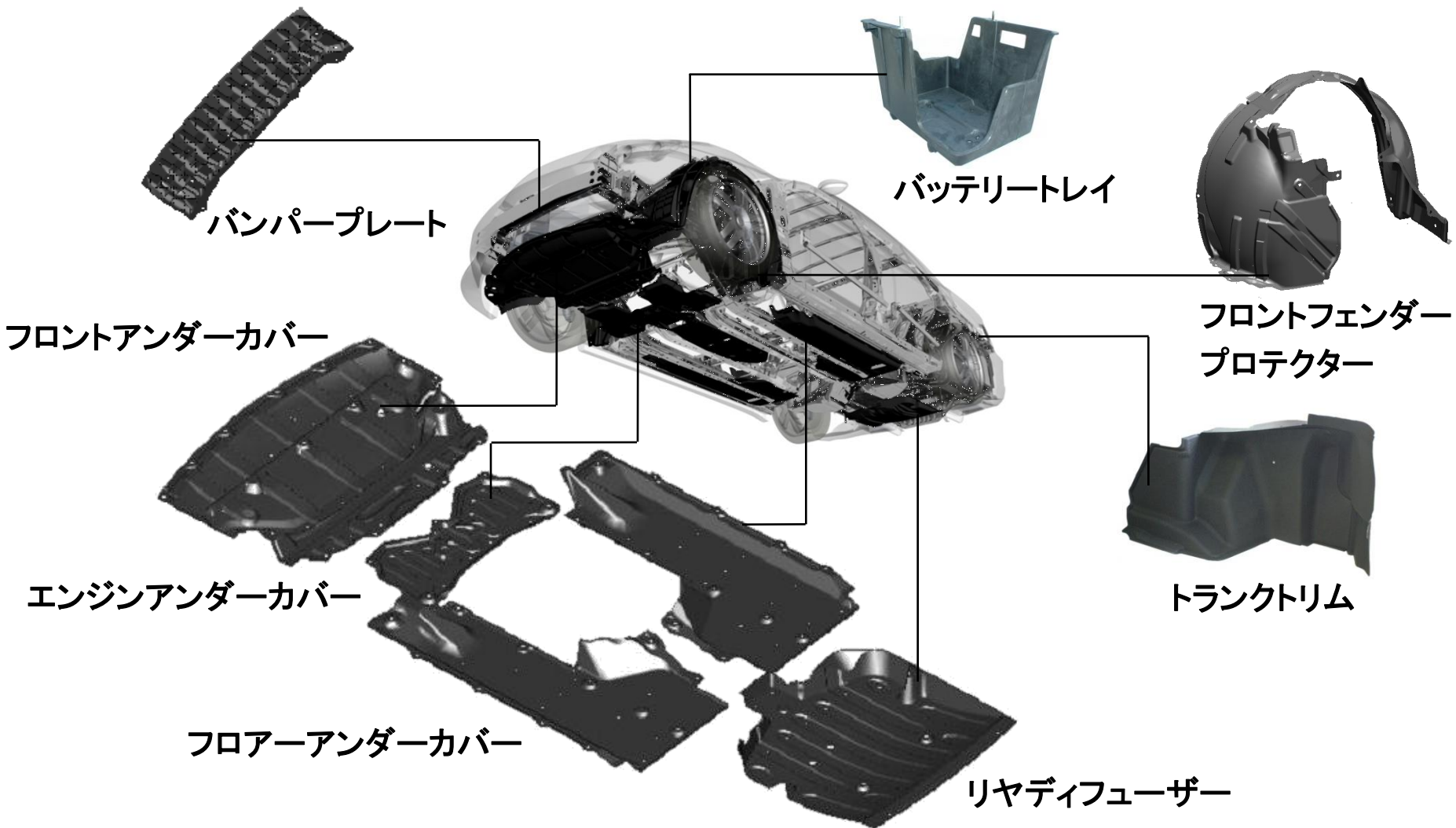
搭載トランスミッション
「Jatco CVT7 W/R」



搭載車種「日産 LANNIA」



樹脂プレス製品



世界特許の独自のプレス工法で軽量、低コストな樹脂部品を生産



樹脂プレス技術

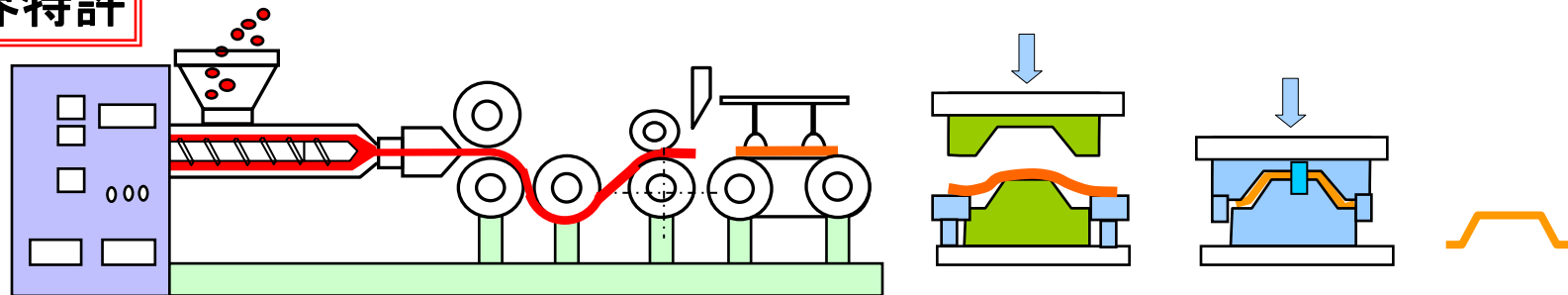
樹脂プレス工法・・・樹脂成形加工に新たな技術領域を切り開いた、当社独自のプレス工法

樹脂プレス工法の一例

USS工法

・・・材料をシート状に伸ばし、連続してプレス成形

世界特許

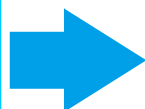


<特長>

低圧成形

高速成形

薄肉成形

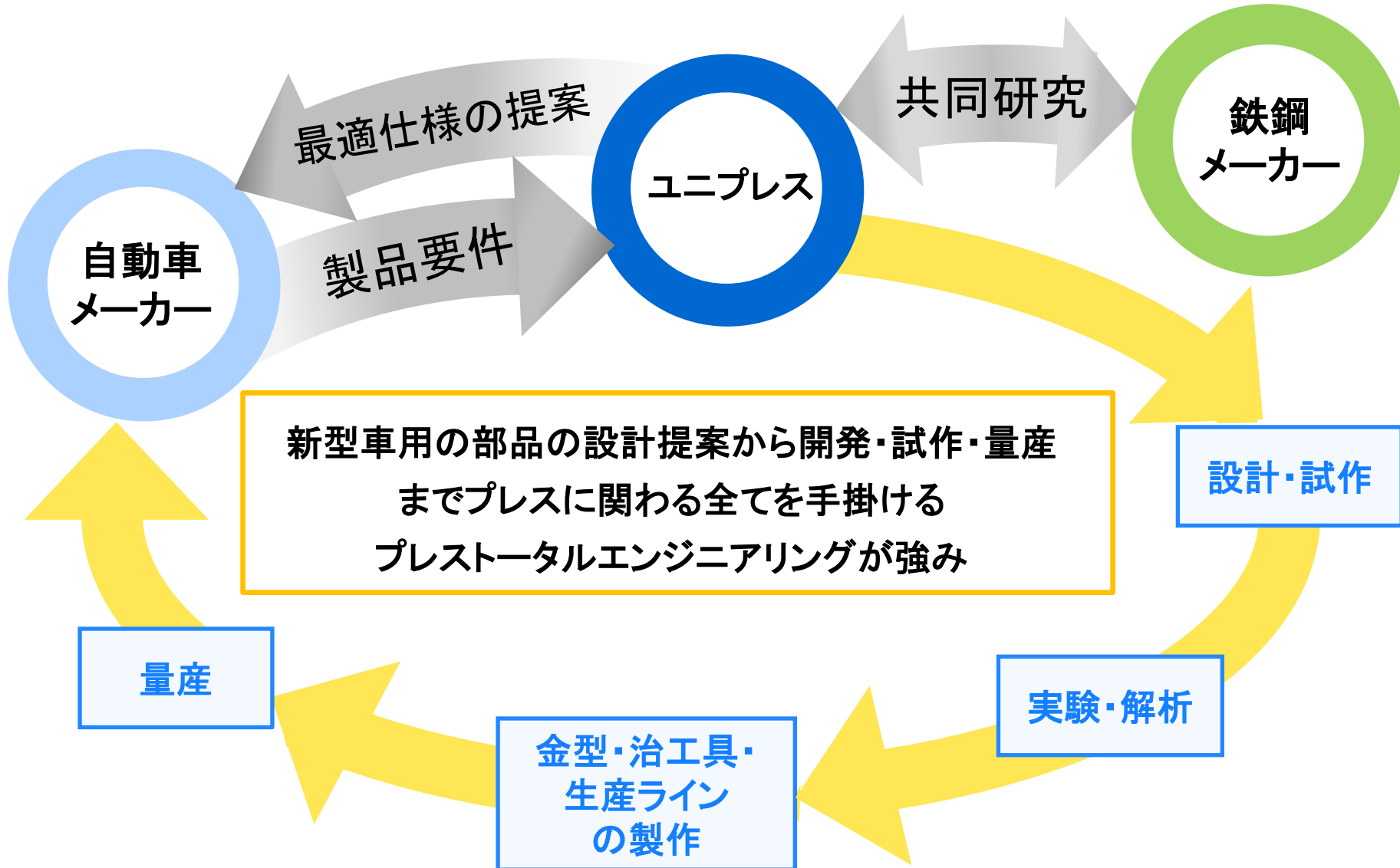


コスト競争力



フロントフェンダープロテクター

・樹脂プレス技術により、インジェクション工法に比べ、生産性向上およびコスト低減を実現



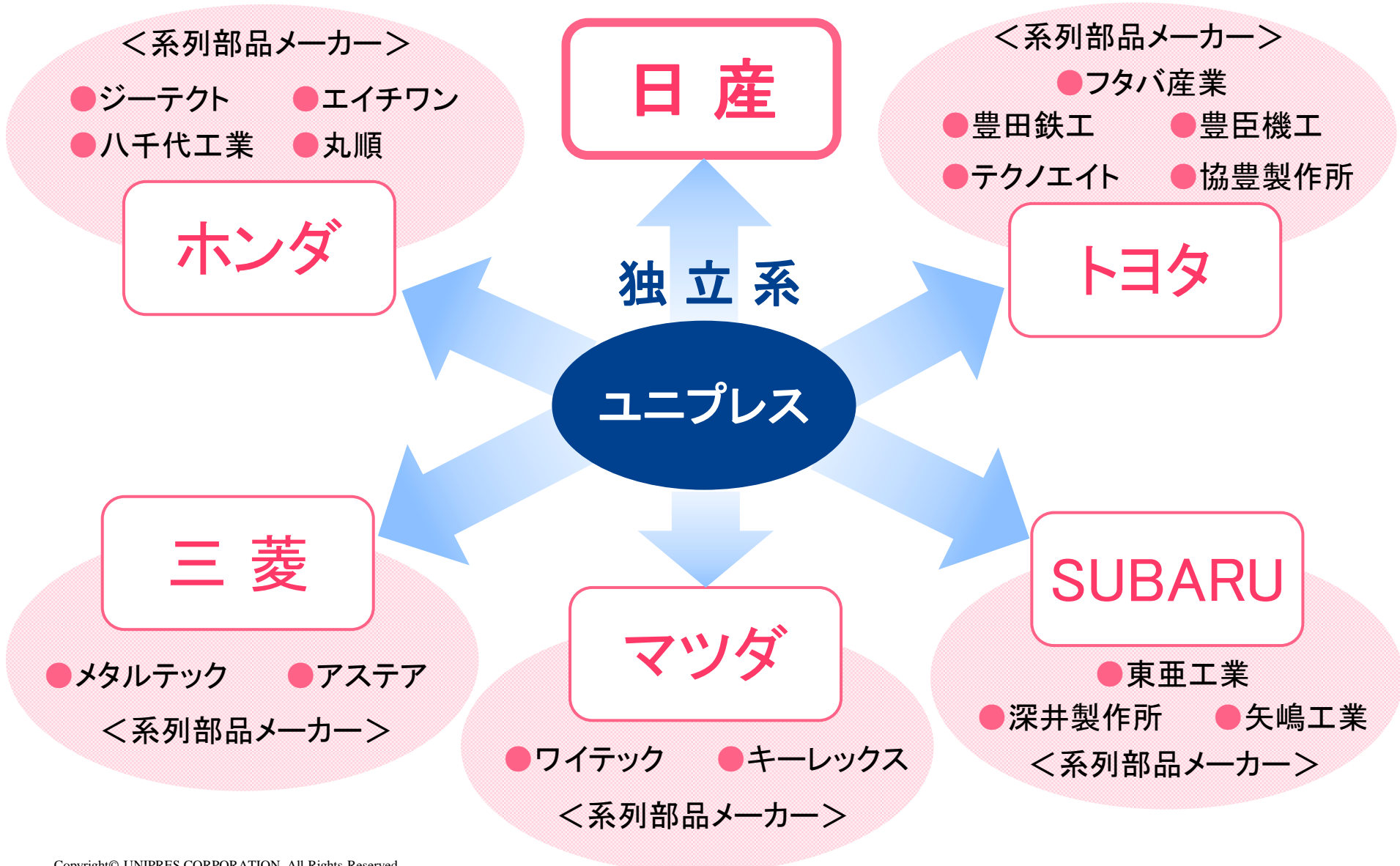


国内外の自動車メーカーへグローバルに供給

2) 拡販



自動車メーカーと自動車部品メーカー



ホンダ

車体プレス製品・
トランスミッション用プレス製品・
樹脂プレス製品すべてに
おいて一番の拡販先

トヨタ

トランスミッション用
プレス製品の拡販を狙う
(納入先:アイシンAW)

三菱

軽自動車を足がかりに
新規拡販を狙う

SUBARU

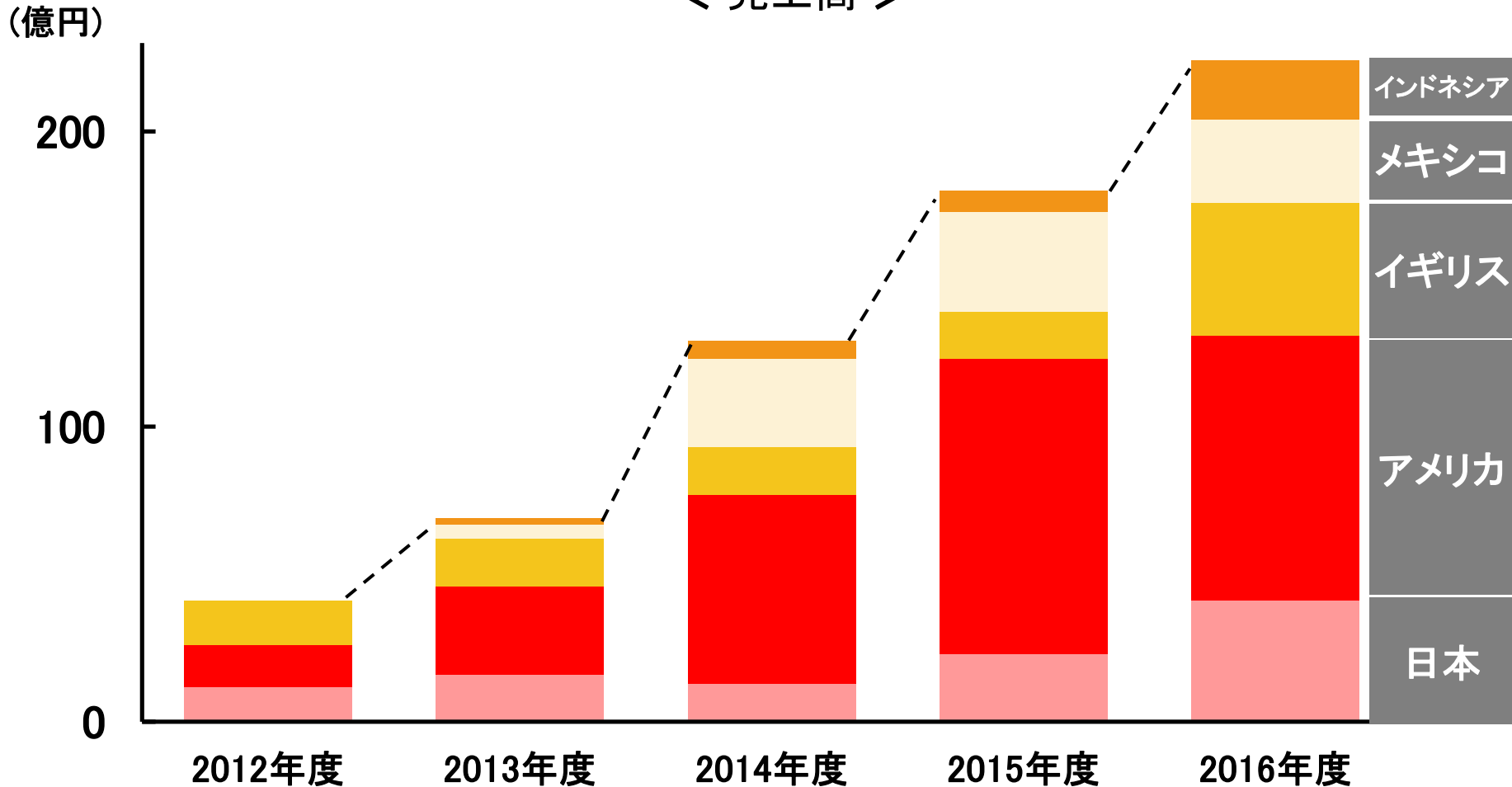
トランスミッション用
プレス製品を
中心に拡販

マツダ

車体プレス製品・
樹脂プレス製品を
中心に拡販

ホンダへのグローバル拡販状況

< 売上高 >



! Point

ホンダ向けの売上が5年で約5倍に拡大



三菱自動車への拡販戦略

三菱系サプライヤーである(株)メタルテックとの協業により、三菱自動車への拡販を狙う

＜三菱自動車の主な生産車種＞



ekワゴン

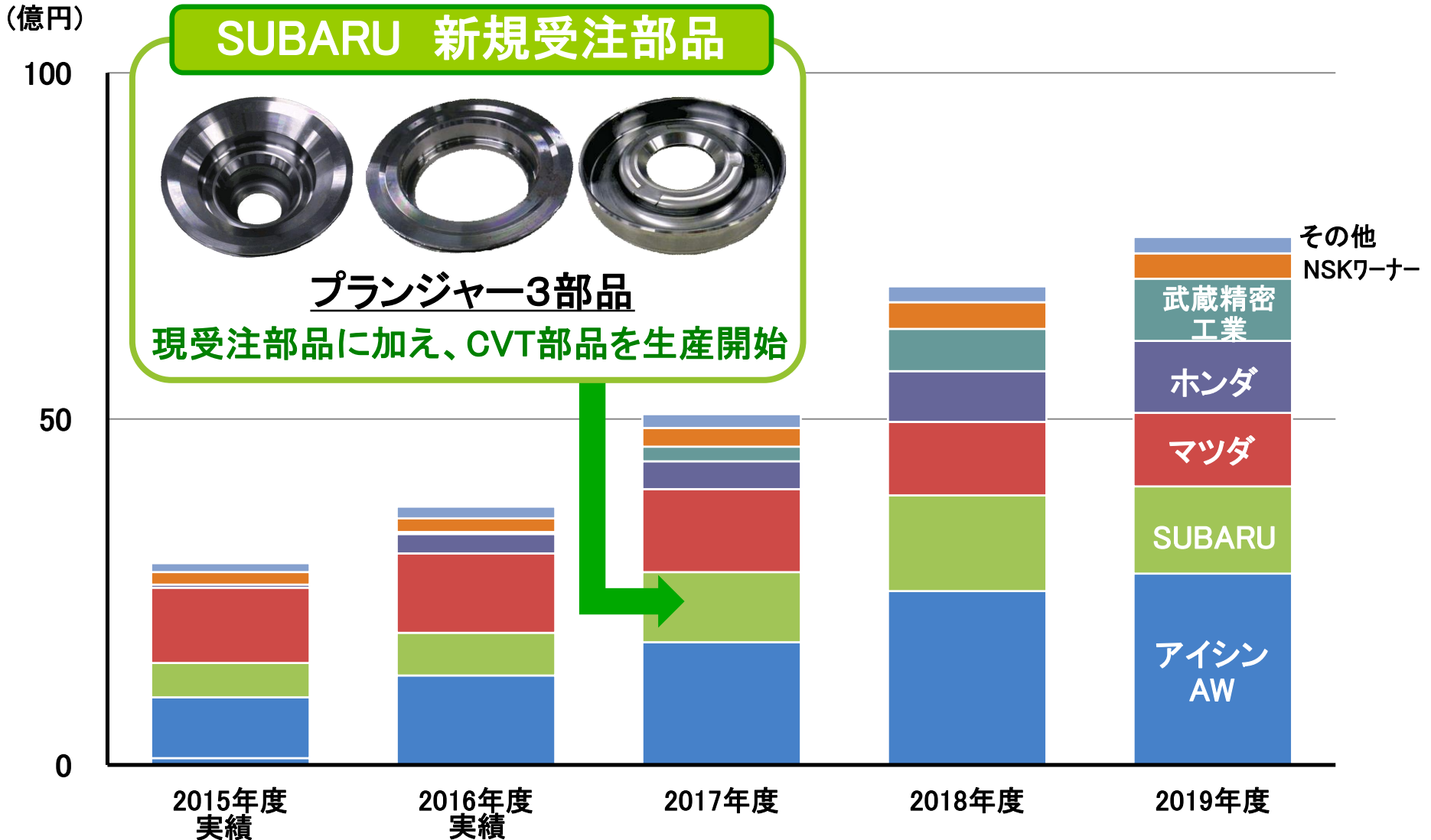


アウトランダー



メタルテックから三菱自動車へ部品納入

< 日産圏外 グローバル売上計画 >





海外メーカーへの拡販の取り組み

ルノーへの拡販

イギリス



カジャール

中国(東風ルノー)



コレオス



カジャール

インド



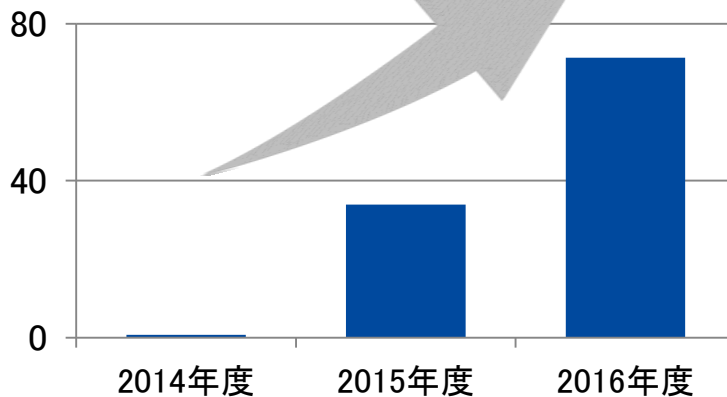
ロジュー



ダスター

＜ルノー 売上高推移＞

(億円)



・海外の自動車メーカーへも受注活動を推進



米州・欧州・アジアの3極にネットワークを広げる

3) グローバル展開



ユニプレスの海外生産拠点

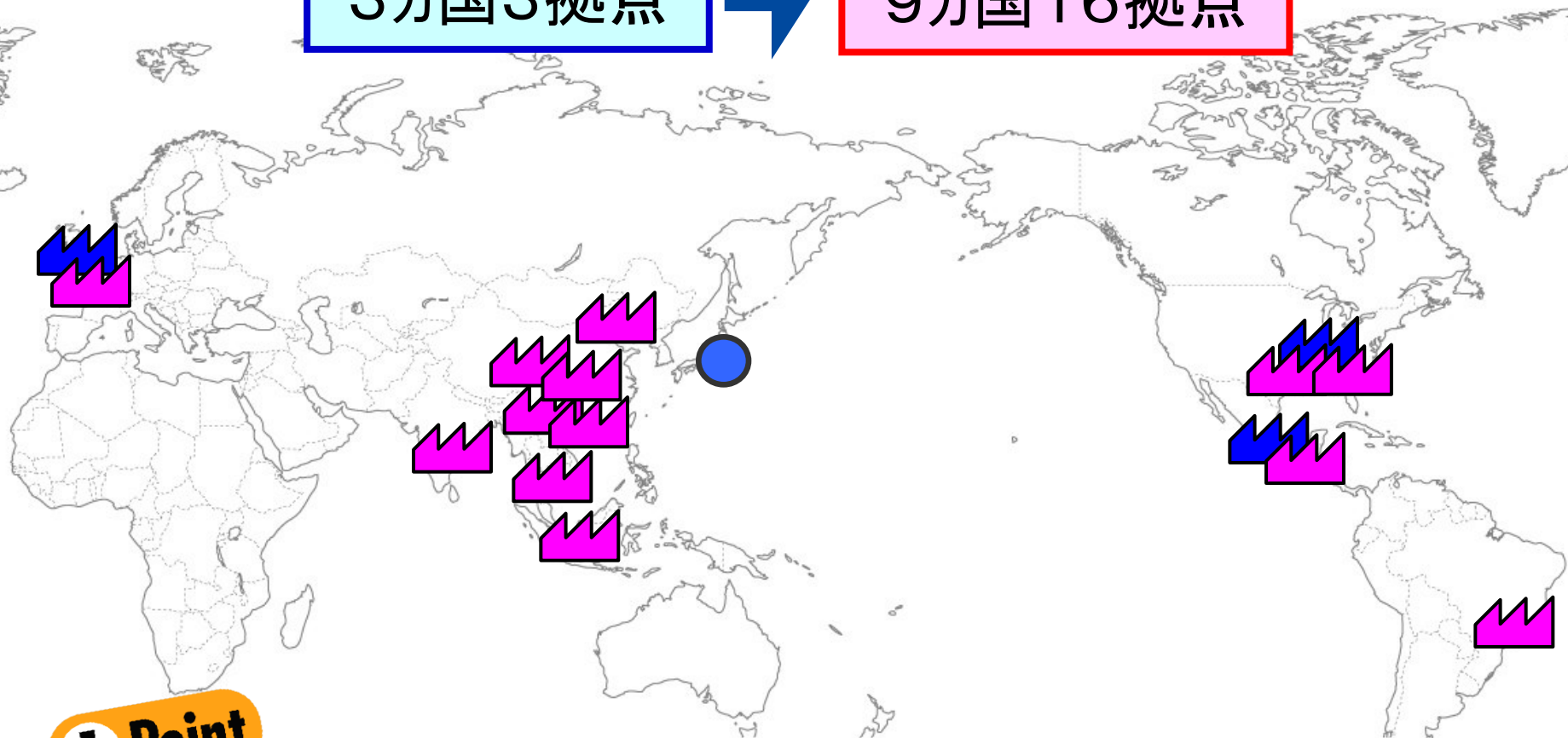
2002年

3カ国3拠点



2019年度

9カ国16拠点

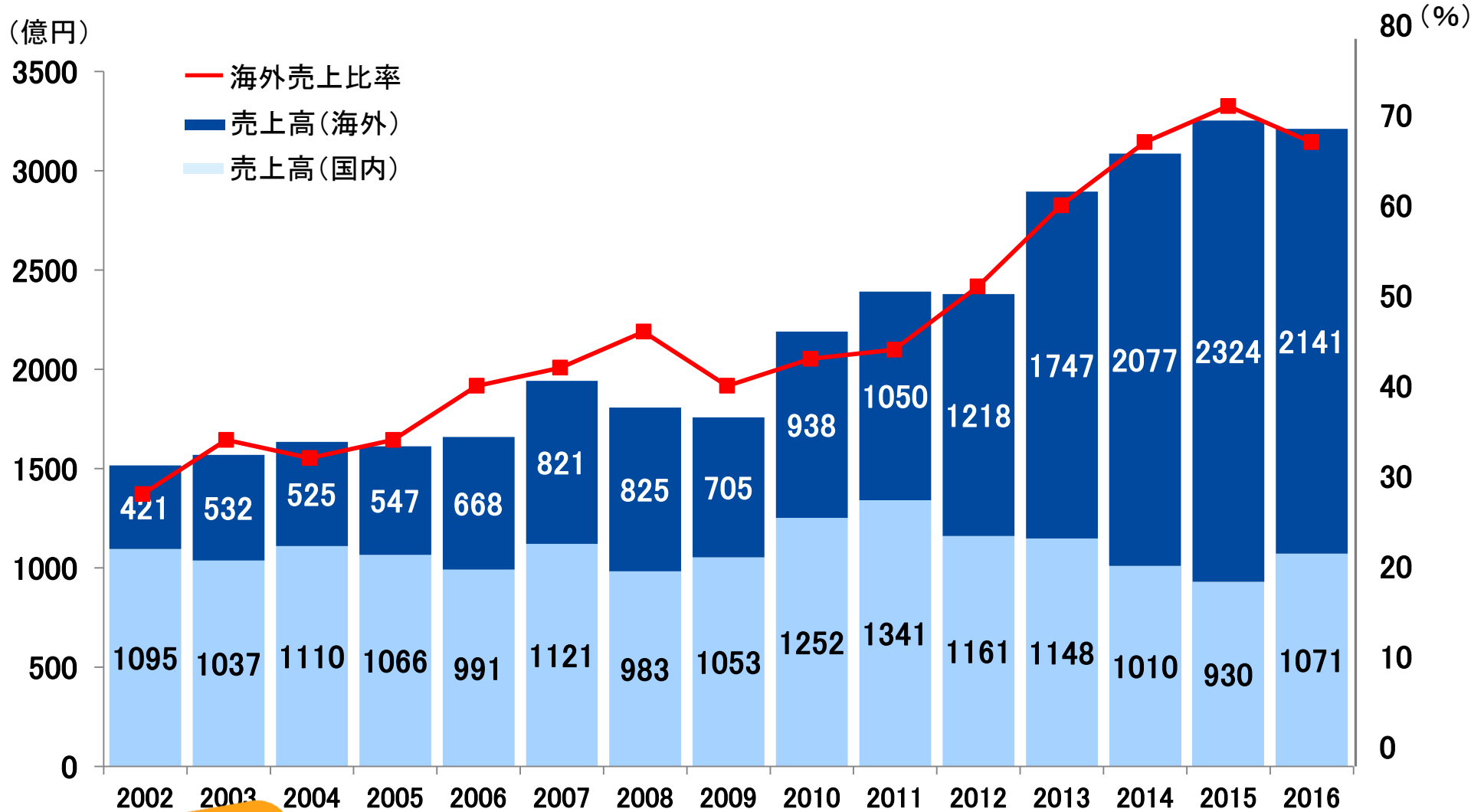


! Point

海外生産拠点数が約5倍の16拠点到!



海外売上比率の推移



! Point

2016年度の海外売上比率は約7割まで拡大



3. 中期経営戦略

プレスを究めて、プレスを越える

1. 市場ニーズを先取りした技術開発型企业
2. 競争力No.1を維持するコスト開発型企业
3. 自動車産業の構造変化に対応した
グローバル戦略型企业

■9カ国16拠点

- ・生産基盤の強化

■新たな市場領域

- ・グローバル拡販(ホンダ・ルノー・三菱等)
- ・トランスミッション部品事業の強化・拡大

■グローバルQCD

- ・UPS活動の更なる向上
 - 15KPI ※Key Performance Indicator
- ・グローバル品質の向上と
コスト競争力の強化

グローバル展開と
生産基盤の強化

業界トップレベルの
競争力

課題

製品・素材・工法
の革新

グローバル
マネジメントの強化

■新製品・新技術の開発

- ・車体軽量化/高強度化 技術開発
- ・生産技術革新

■外部との共同研究拡充

- ・高炉メーカー、自動車メーカー

■グローバル管理機能の強化

- ・日本のグローバル管理機能強化
- ・地域統括会社の機能強化

■グローバル人財の強化・登用



中期経営目標

2019年度目標

売上高

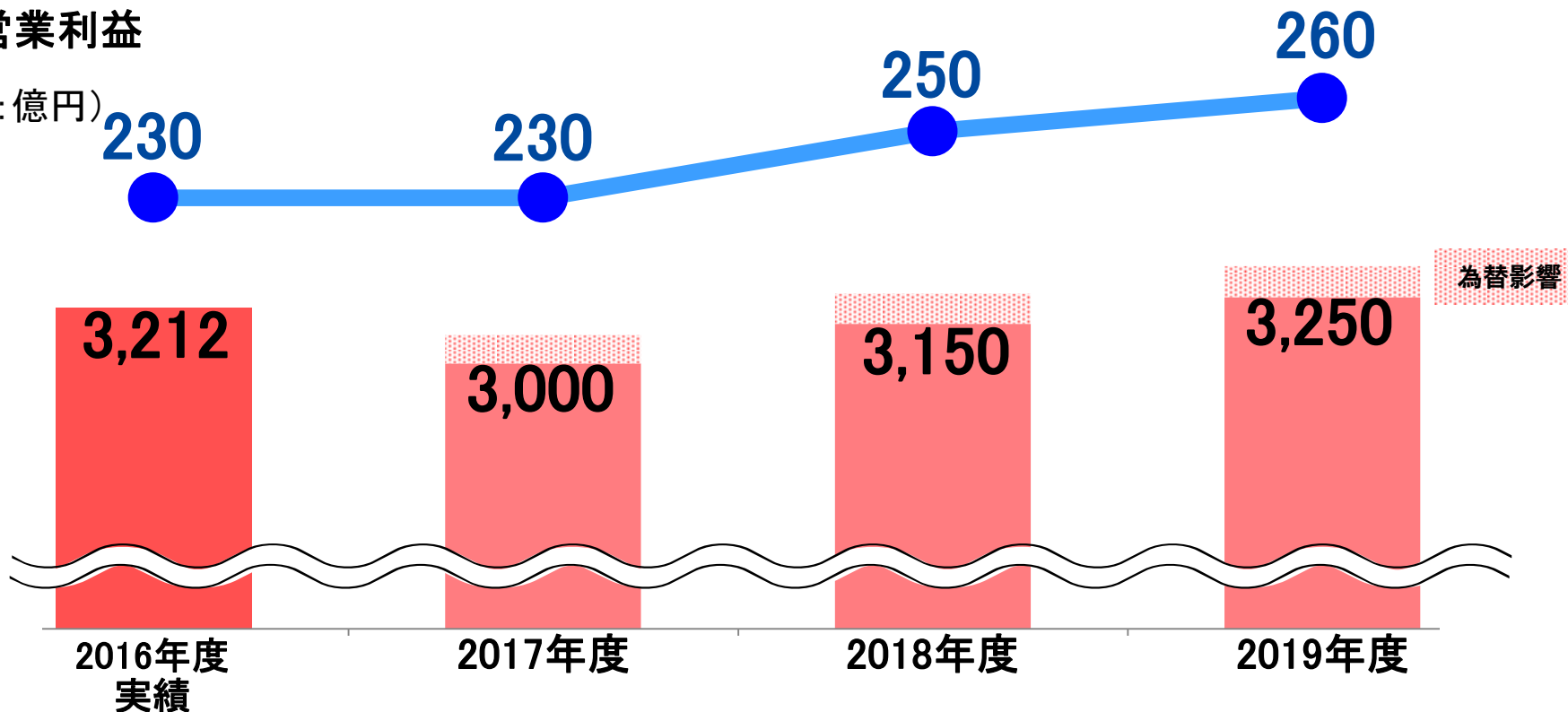
3,250億円

営業利益

260億円

- 売上高
- 営業利益

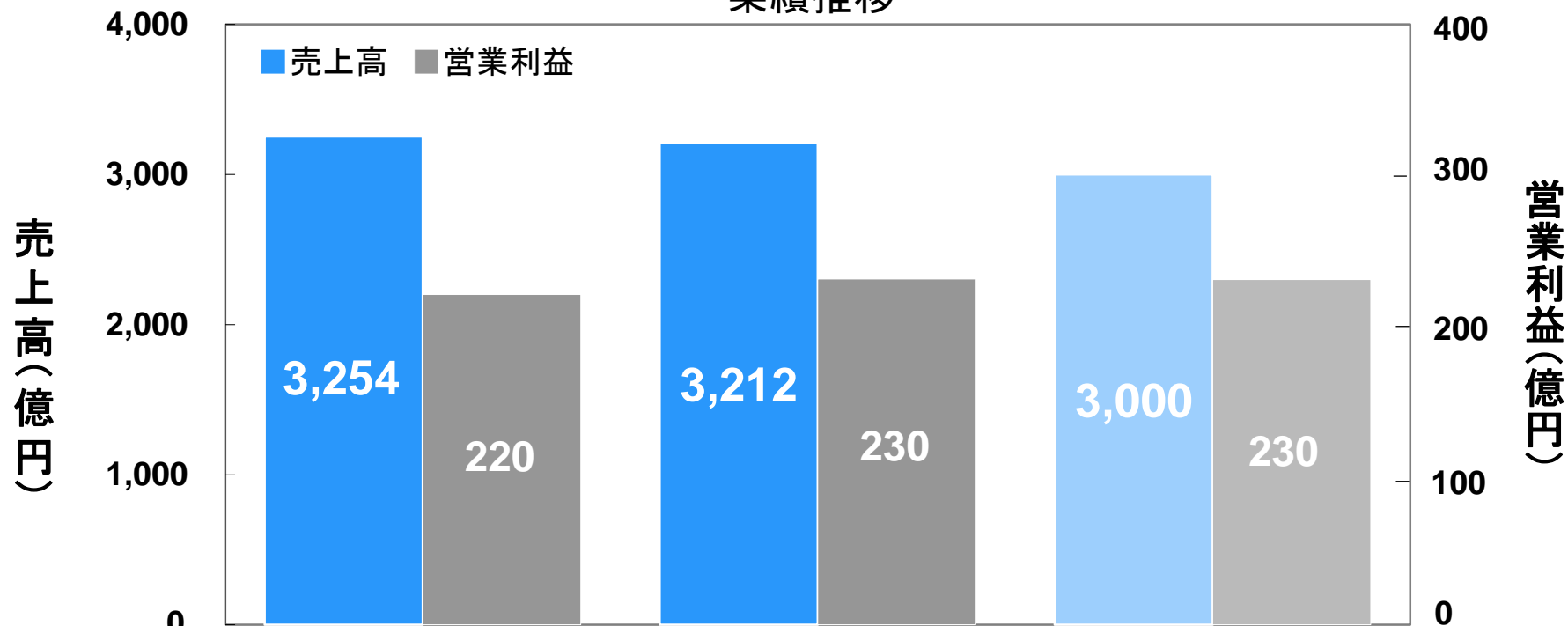
(単位: 億円)





2017年度連結業績計画

業績推移



	2015年度	2016年度(A)	2017年度 計画(B)	(B)-(A)
売上高	3,254	3,212	3,000	-212
営業利益	220	230	230	0
経常利益	182	230	225	-5
親会社株主に帰属する当期純利益	98	144	140	-4

※ 2017年度 為替換算影響：売上高 -110億円、営業利益 -11億円

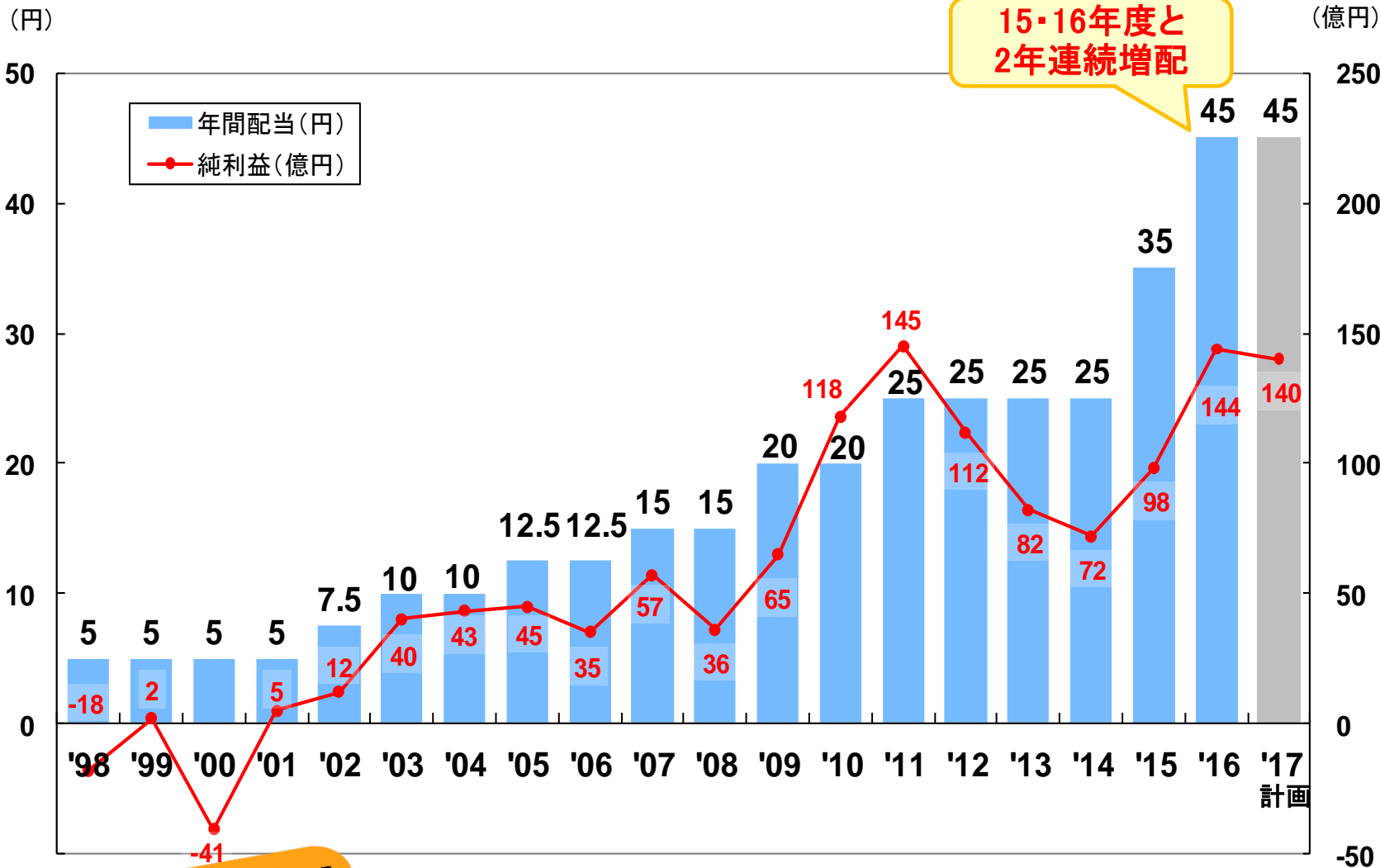


配当・株主優待制度を継続的に実施する

4. 株主還元



当期純利益・配当金推移



! Point

2017年度は45円を計画



ポイント制 株主優待サービス

- 株主様に中長期的に当社株式を保有いただくため、長期保有優遇の株主優待制度を継続実施

長期保有するほどポイントが増加！

株式数 \ 期間	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
100株以上	1,000	2,000	3,000
1,000株以上	2,000	3,000	4,000
3,000株以上	3,000	4,000	5,000

・3月31日現在の株主名簿に記載された株主の皆様が対象

! Point

保有株式数・期間に応じて、
年1回ポイントを贈呈



選べる！バラエティ豊かな優待商品

株主優待商品過去実施例

QUOカード

社会貢献型QUOカード



このクオカードの購入代金の一部は、東日本大震災被災地の子どもたちを笑顔にするための活動に使われます。

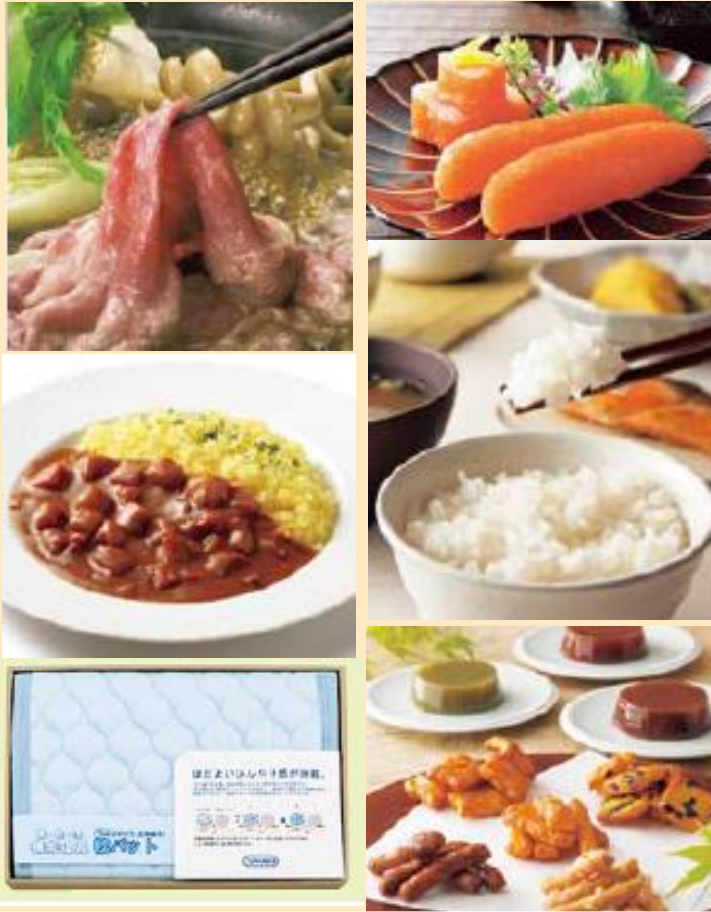
ユニプレスオリジナルグッズ

パワーチャージ ライト&FMラジオ手動式



! Point

食品・雑貨など数十点



環境・社会貢献活動団体への寄付



- ・more treesへ寄付
- ・交通遺児等育成基金へ寄付



4,500 Point

<p>1073 新米産地特別産米 コシヒカリ4.5kg</p> <p>価格：4,500円(2kg 2,250円)</p> <p>※送料別</p> <p>※この商品は、産地直産の特別産米です。通常の産米よりも、より良い米を収穫するために、特別な栽培方法がとられています。味、食感ともに通常の産米よりも、より良いです。産地直産の特別産米です。産地直産の特別産米です。産地直産の特別産米です。</p>	<p>1078 味噌ラーメン15食</p> <p>価格：4,500円(1食 300円)</p> <p>※送料別</p> <p>※この商品は、産地直産の特別産米です。通常の産米よりも、より良い米を収穫するために、特別な栽培方法がとられています。味、食感ともに通常の産米よりも、より良いです。産地直産の特別産米です。産地直産の特別産米です。産地直産の特別産米です。</p>
<p>1074 伊予上野の星 パラエターセット</p> <p>価格：4,500円(2kg 2,250円)</p> <p>※送料別</p> <p>※この商品は、産地直産の特別産米です。通常の産米よりも、より良い米を収穫するために、特別な栽培方法がとられています。味、食感ともに通常の産米よりも、より良いです。産地直産の特別産米です。産地直産の特別産米です。産地直産の特別産米です。</p>	<p>1079 和食組合</p> <p>価格：4,500円(1食 300円)</p> <p>※送料別</p> <p>※この商品は、産地直産の特別産米です。通常の産米よりも、より良い米を収穫するために、特別な栽培方法がとられています。味、食感ともに通常の産米よりも、より良いです。産地直産の特別産米です。産地直産の特別産米です。産地直産の特別産米です。</p>
<p>1075 さくらボック ジャムがけ用</p> <p>価格：4,500円(2kg 2,250円)</p> <p>※送料別</p> <p>※この商品は、産地直産の特別産米です。通常の産米よりも、より良い米を収穫するために、特別な栽培方法がとられています。味、食感ともに通常の産米よりも、より良いです。産地直産の特別産米です。産地直産の特別産米です。産地直産の特別産米です。</p>	<p>1080 和食セット</p> <p>価格：4,500円(1食 300円)</p> <p>※送料別</p> <p>※この商品は、産地直産の特別産米です。通常の産米よりも、より良い米を収穫するために、特別な栽培方法がとられています。味、食感ともに通常の産米よりも、より良いです。産地直産の特別産米です。産地直産の特別産米です。産地直産の特別産米です。</p>

全厚銀六割高 せんべいの爐

ハニーウェア 18cmソースパン

Honey Ware

0120-907-739

ポイントに応じて、オリジナルカタログから好きな商品が選べる



株価の推移

【株価チャート】



【株価指数チャート】





UNIPRES

- 初年度から「**JPX日経中小型指数**」の構成銘柄に決定（2017年3月13日～）

JPX中小型指数（略称：JPX日経中小型）

東京証券取引所、日本経済新聞社が共同で開発した、「投資家にとって投資魅力の高い」中小型株で構成する新しい株価指数（構成数は200銘柄）



会社概要

参考資料

会社名 ユニプレス株式会社

代表者名 吉澤 正信

設立 1945年3月1日
【1998年合併 山川工業(株)・大和工業(株)】

上場取引所 東証一部 【証券コード:5949】

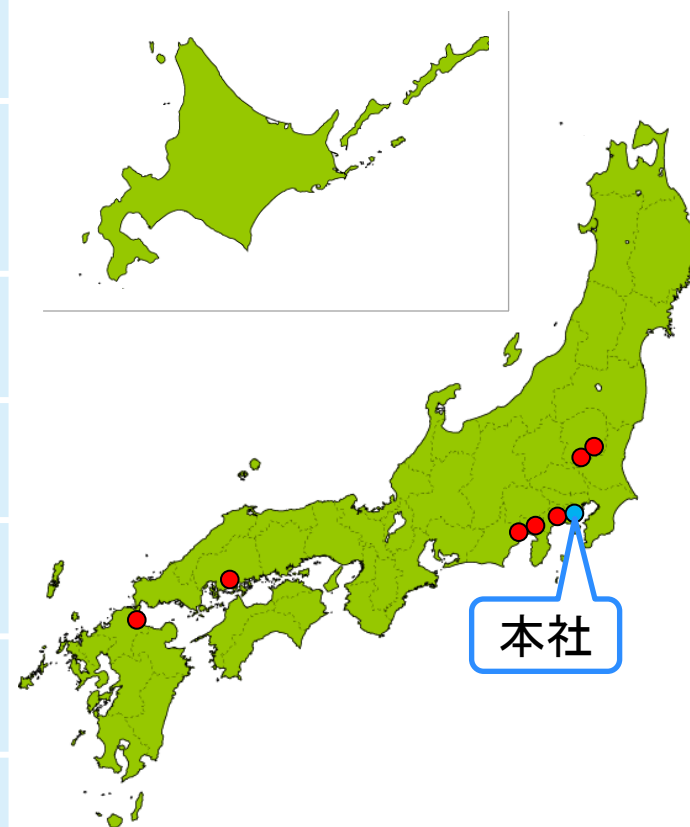
事業内容 自動車部品の製造及び販売

資本金 100億3,997万5,800円 (2017年3月31日現在)

従業員数 連結9,694人 (2017年3月31日現在)

本社所在地 神奈川県横浜市港北区新横浜1-19-20

特徴 **自動車用プレス部品の国内最大手**





地球や社会と調和し、貢献すること。
それがユニプレスの使命です。



～地球のために～

クルマの軽量化による燃費向上を通じた
低炭素社会への貢献

～社会のために～

グローバルに広がる
社会貢献・地域社会との融合



～社員ののために～

ワークライフバランスを重視した
働きやすい職場づくり



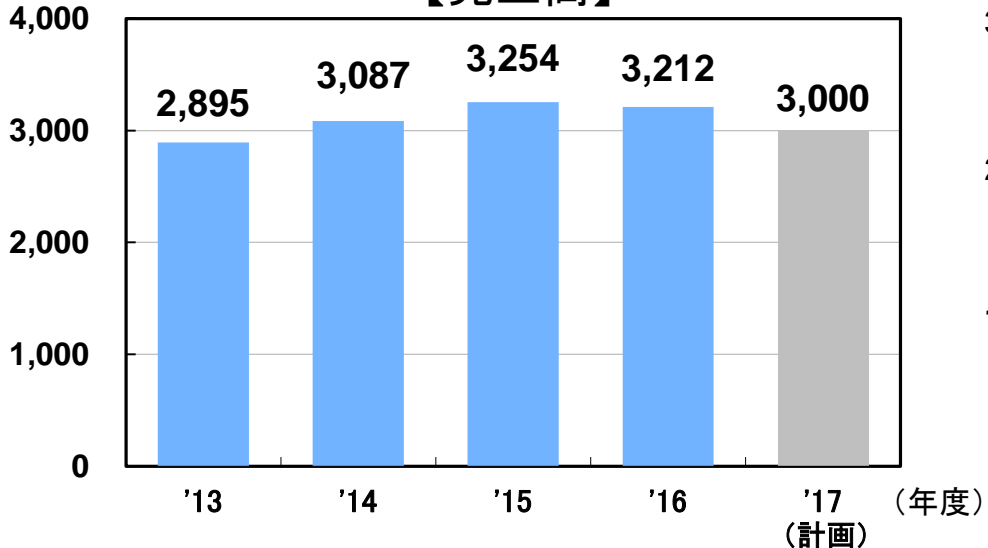


主要業績推移

参考資料

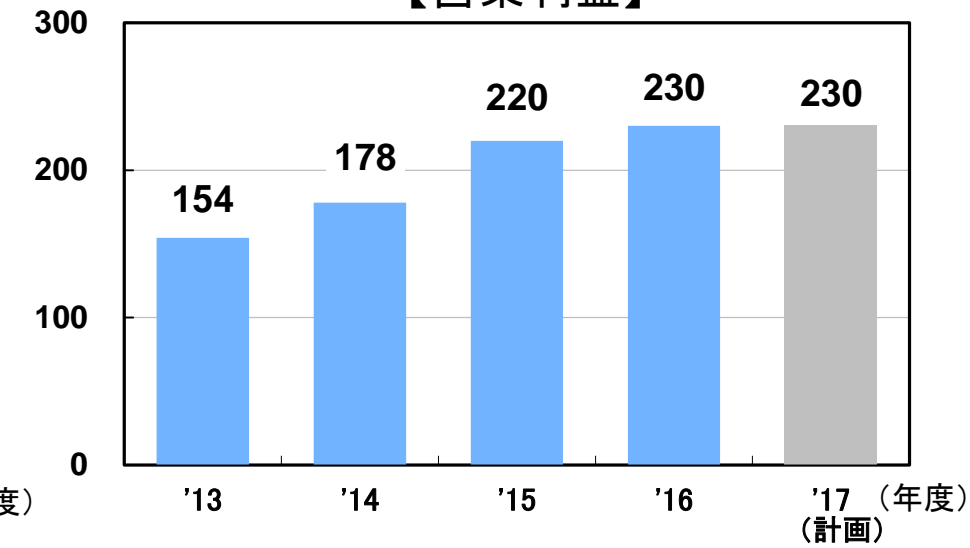
(億円)

【売上高】



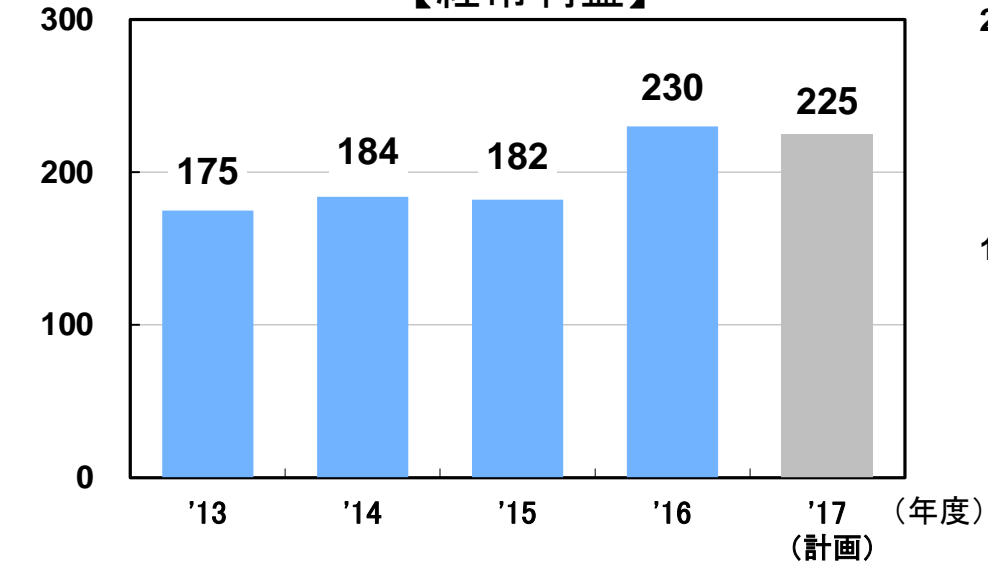
(億円)

【営業利益】



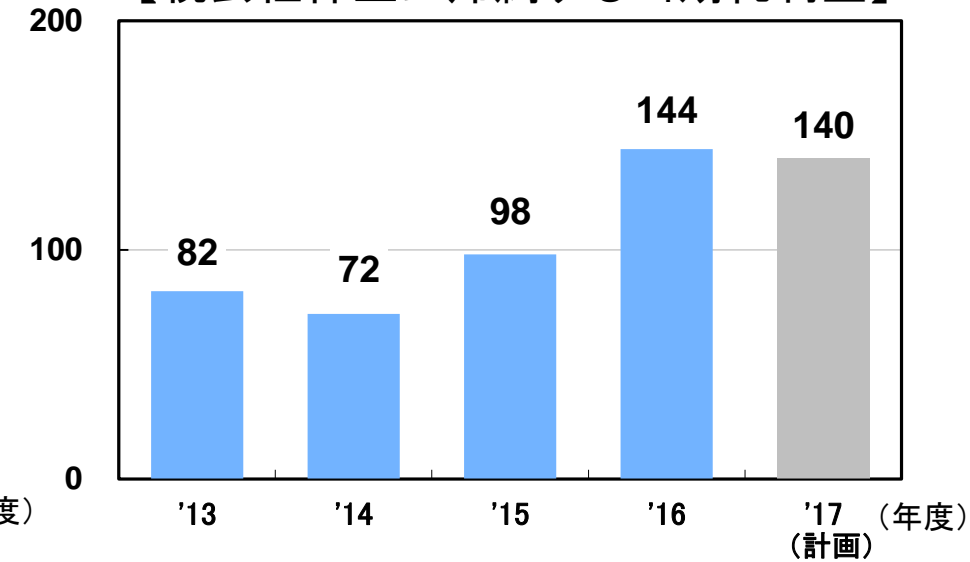
(億円)

【経常利益】



(億円)

【親会社株主に帰属する当期純利益】





UNIPRES

財務ハイライト

参考資料

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
売上高(百万円)	237,832	289,491	308,739	325,423	321,168
営業利益(百万円)	16,025	15,435	17,796	22,033	23,025
経常利益(百万円)	18,153	17,518	18,363	18,186	23,034
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	11,218	8,208	7,207	9,750	14,379
1株当たり当期純利益(円)	238.50	175.19	170.89	217.81	315.89
1株当たり配当金(円)	25.00	25.00	25.00	35.00	45.00
総資産(百万円)	167,805	210,955	238,356	233,274	241,052
純資産(百万円)	105,009	109,081	121,375	129,253	135,320
自己資本比率(%)	58.9	48.5	47.5	51.6	52.5
1株当たり純資産(円)	2,094.96	2,431.88	2,681.93	2,674.58	2,648.03
有利子負債残高(百万円)	19,876	34,496	42,777	30,333	22,445
営業活動による キャッシュフロー(百万円)	17,882	38,255	25,701	29,107	33,430
投資活動による キャッシュフロー(百万円)	△23,772	△30,783	△25,911	△18,613	△20,038
財務活動による キャッシュフロー(百万円)	2,764	2,001	3,392	△6,449	△4,148



UNIPRES

主な財務指標

参考資料

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
売上高営業利益率(%)	6.7	5.3	5.8	6.8	7.2
売上高経常利益率(%)	7.6	6.1	5.9	5.6	7.2
総資産経常利益率 (ROA)(%)	11.2	9.3	8.2	7.7	9.7
自己資本当期純利益率 (ROE)(%)	12.3	8.2	6.7	8.3	11.6
EBITDA(百万円)	32,308	34,756	37,989	36,975	42,035
売上高EBITDA率(%)	13.6	12.0	12.3	11.4	13.1
EV/EBITDA倍率(倍)	3.5	2.6	3.2	2.5	2.3
配当性向(%)	10.5	14.3	14.6	16.1	14.2
純資産配当率(%)	1.3	1.1	1.0	1.3	1.7
配当利回り(%)	1.2	1.3	1.0	1.8	1.9
PER(倍)	9.0	10.6	14.3	9.0	7.3
PBR(倍)	1.03	0.76	0.91	0.73	0.88
総資産回転率(回)	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4



資料取り扱い上の注意

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で当社が知りうる情報をもとに作成されたものです。
あくまでも現時点での将来予想であり、リスクや不確定要素を含んでいるため、実際の業績はかかる予想と大きく異なる結果となることがあります。
それらのリスクや不確定要素のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。

- 主要市場(日本、米州、欧州、アジア等)の経済状況、消費動向、及び自動車業界得意先メーカー各社の業況・戦略等に伴う製品需給の急激な変動
- 原油価格や鋼材価格の高騰に伴う当社製品製造コストへの影響
- 為替相場の大幅な変動
- 金融・資本市場における金利等の変動 など